

## 平成 28 年度県民消費動向調査 個人消費動向調査結果の概要（抜粋）

Source：高知県商工労働部経営支援課

- 商圏の消滅、縮小、及び高知市への一極集中化傾向が進む。
- 買い物に行く交通手段は、「自家用車」が約 86%。70 代以上は「徒歩」で買い物に行くが 10% 超え。
- 住所・勤務地などが変わったことなどで、回答者の約 15% が「近場での買い物が増加」。大型店ができたなどで、回答者の約 11% が「近場での買い物が減少」。
- 回答者の約 13.7% でここ 5 年間の買い物満足度が「高まった」。「変わらない」が 75.1% で、「高まった」が 11.2%。
- 近くの店では満足に買い物ができないなどで回答者の約 40%、70 代の約 53% が日頃の買い物が「不便」と回答。日頃の買い物が「不便」と感じる人は 39.7%、「不便でない」は 60.3%。
- あれば利用したサービスは、「宅配サービス」が約 28%。40 代以下では「宅配サービス」が 30% 超。70 代以上では「移動販売」が 20% 超。
- 買い物の際重視する項目は、「車で行きやすい」「価格が安い」が 40% 超。70 代では「なじみ、いきつけ」、80 代では「一度で買い物が済む」「近い」が約 41%。
- 商品を選ぶ際に重視する点は「価格」「品質・鮮度」が 85% 超。40 代以下では「価格」、50 代以上では「品質・鮮度」が最も多い。
- 今後「インターネットショッピング」での買い物を増やす見込みが約 39%。「ショッピングセンター、スーパーなどの大型店」「ディスカウントストア（業務用スーパー、ドラッグストアなど）」でも買い物が増える模様。
- インターネット通販の利用状況は「年 10 回以上」が約 28%。「ファッション・雑貨・小物」の購入が約 70%。
- カタログ通販の利用状況は「年 1～2 回」が約 27%。「ファッション・雑貨・小物」の購入が約 72%。
- テレビ通販の利用状況は「年 1～2 回」が約 13%。「パソコン・家電」の購入が約 38%。
- 移動販売の巡回は、「来ている」が約 21% で、回答者の約 6% が移動販売を「利用」。今後、移動販売を「利用する見込み」が約 20%、80 代以上は 50%。
- 回答者の約 59% が直販所を利用。60～70 代では 70% 超。利用者は女性のほうが多い。
- 回答者の約 76% が「地産地消を意識して買う」。高知県産品を買う理由の約 74% が「品質・鮮度が良い」。
- 高知県産品と県外産品の価格差は「同じ価格であれば高知県産品を選ぶ」は 46%。「価格以外の基準で選択している」は約 15%。
- 最寄品<sup>(※)</sup>の買い物先は約 93% が「大型店」。「商店」は約 4%。買回品<sup>(※)</sup>の買い物先は約 75% が「大型店」。買回品では「大型店」の上昇幅が拡大。「商店」は 6.8% と低下を続け、前回からは 21.9 ポイントの低下（28.7%→6.8%）となり、下降幅が大きく拡大した。

※最寄品…生鮮食品・一般食料品・日用雑貨・台所用品

※買回品…紳士服・婦人服・くつ・カバン